


すわがわきょうりょう 諏訪川橋梁



- ・規模 橋長L=51.2m
- ・建築年代 明治30～33年頃
- ・外観の特徴 橋脚、橋台は煉瓦造（イギリス積）。上部工は鋼製。橋脚の川上部分は水圧がかかるため部分的に石造としている。橋脚の桁が乗る部分は荷重がかかるため石で補強している。西側線路敷部分はコンクリートで後舗。現在は配管が敷設されている。
- ・指定の理由 本市の特徴は、日本の近代工業化の礎を築いた三池炭鉱とともに歩んできた歴史を持ち、その歴史の証として、市内各地に三池炭鉱関連近代化産業遺産が残されている。明治38（1905）年に三池港まで開通した専用鉄道は、途中、道路や河川を横断しながら敷設され、本施設はその一部であり、当時の専用鉄道の様子を理解するうえでも貴重な施設である。
- ・所在地 大牟田市馬込町2丁目216番地先



 [地図ナビにリンクしています](#)